

渥美郡三町の時代



郷土史編さん室 ☎36-6503

開発による新たな自治会の誕生

住宅団地開発と土地区画整理事業

田原町では昭和40年代以降、少子高齢化による人口減少への対応や臨海部への企業誘致に伴う従業員などの受け入れ、住環境の整備などのため、住宅団地の開発と土地区画整理事業により住宅開発が進められてきました。

住宅団地は、谷熊台団地の開発が始まった昭和44年度以降、大草団地、西浦、蔵王東、滝頭など、平成17年度完了の御殿山まで、13カ所が開発



●ふれあい橋(平成3年完成)

されました。

土地区画整理事業は、市街化区域内で道路の整備や拡張、公共施設の新設を行い、住環境の良好な宅地を造成し、秩序ある街づくりを目的とする事業で、昭和50年度着工の清谷地区に始まり、神戸、南新地、赤石など、平成19年度完了の片西まで10カ所、98・77haが開発されました。

特に田原町中心部の赤石土地区画整理事業は、施工面積35・14ha、事

業費約41億円、着工昭和61年、完工平成6年で、他の地区に比べ、飛び抜けて大きなものでした。

汐川をまたぐ夢の架け橋であった、ふれあい橋の架設などによって、田原、加治、神戸地域を結ぶ大動脈が完成しました。完工記念碑には、『ふれあいと和平のまち赤石』赤石一丁目より六丁目、東赤石一丁目より五丁目がここに新しく誕生した」と書かれています。

新しい自治会の誕生

自治会は、住民自治組織のことをいい、地区、町内会などとも呼ばれています。

赤石地区は、平成5年4月から新しく赤石、東赤石、サンコートの3つの自治会となりました。

平成20年度田原市総代名簿には、昭和30年にはなかった地区名が多くあります。それらは、赤石地区の3自治会と同じく、住宅開発により新しく誕生した自治会です。住宅開発に



伴う新自治会は図のとおりです。

赤羽根町は大規模な開発はなく、自治会も従来と変わっていません。

渥美町は、石神北側の三河湾沿いに、平成8・9年度で夕陽が浜団地を造成し、平成17年度から自治会となっています。

そして、現在はそれぞれが住みよい地域づくりを目指し、自治会活動を行っています。

(執筆委員・藤井忠)